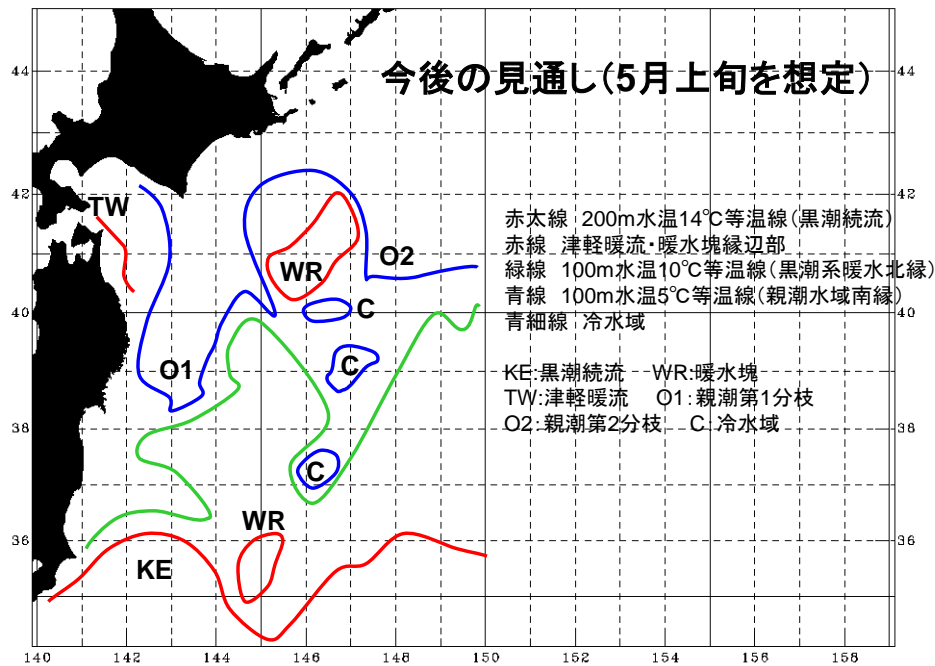


## 平成27年度 第1回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産総合研究センター  
東北区水産研究所、北海道区水産研究所がとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(平成27年5月~6月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並み~やや北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはやや南偏で推移する。
- ・ 釧路沖および黒潮続流北縁に暖水塊が形成される。



### 問い合わせ先

国立研究開発法人水産総合研究センター 東北区水産研究所 業務推進部

担当: 山田、渡邊

電話: 022-365-1191、ファックス: 022-367-1250

国立研究開発法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所 業務推進部

電話: 011-822-2131、ファックス: 011-822-3342

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

## 平成27年度東北海区海況予報 第1号

《今後の見通し (2015年5月～6月)》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～やや北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや南偏で推移する。釧路沖および黒潮続流北縁に暖水塊が形成される。金華山沖の暖水塊は黒潮系暖水に取り込まれ不明瞭となる。また、冷水域が三陸から常磐にかけての沖合に形成される。

《海況の経過 (2015年2月～3月) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

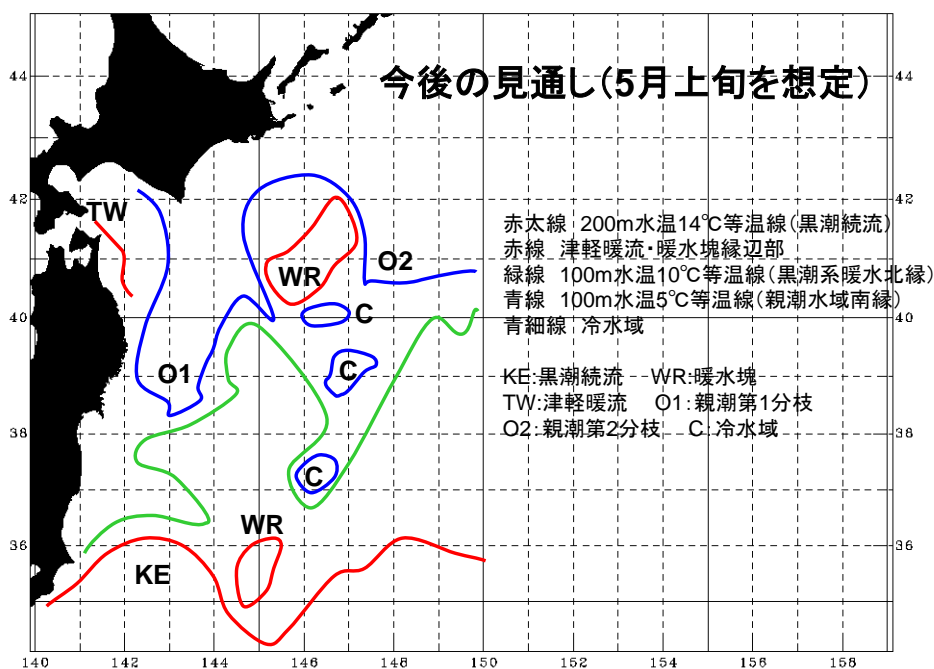
近海の黒潮続流の北限位置は2月下旬にやや南偏となったものの、それ以外は平年並みで推移した。親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。また、金華山沖の暖水塊は西進した。

《現況 (2015年4月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

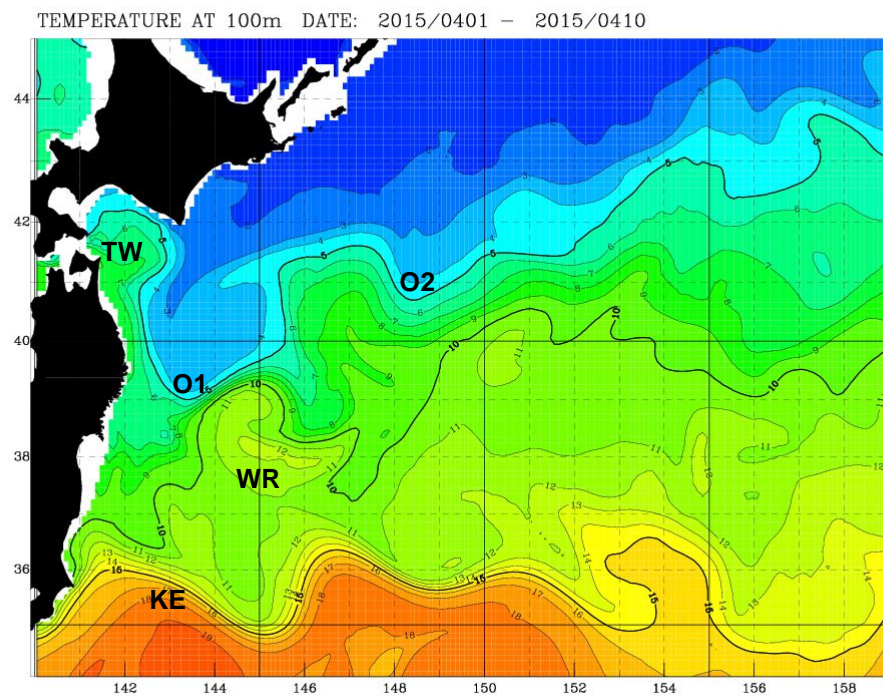
近海の黒潮続流の北限位置は平年並み、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。また、金華山沖に暖水塊がある。

(注) この海況予報は、国立研究開発法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いている。

### 5月上旬予測水温分布図



#### 4月上旬現況水温分布図（100m深）



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊を表している。

## 参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	国立研究開発法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所
岩手県水産技術センター	(取りまとめ機関)
宮城県水産技術総合センター	国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所
福島県水産試験場	
茨城県水産試験場	